

課外ゼミ活動報告

現代小説研究会

顧問・指導者 倉田容子
 人員十四名 報告者 有泉汐音

〔活動内容〕

本年度は、前期に宮沢賢治『谷』、山川方夫『メリイ・クリスマス』、鷺沢萌『誰かアイダを探して』、吉田修一『ためらいの湯』、後期に宮沢賢治『猫の事務所』を用いて発表および議論を行った。国文学科以外の部員も所属しているため他分野からの視点を得ることが可能となり、有意義な意見交換を行うことができた。

また、オータムフェスティバルでは希望者のみ短編作品を制作して、ブースにて作品展示を行った。

文学散歩サークルかちかち山

顧問・指導者 近衛典子
 人員二十七名 報告者 林光祐

〔活動内容〕

本年度は春の文学散歩として、早稲田周辺を散策した。漱石生誕の地——夏目坂や漱石山房記念館・村上春樹ライブラリー・坪内博士記念演劇博物館などを見学し、文学に関する知識のみならず、幅広く見聞を広げることを目的として活動した。例年に倣い、活動の流れは企画者が下調べを行い、しおりを作成した上で実地にて資料や展示物を閲覧し、記念碑など文学ゆかりの地へ赴くことで実感とともに学びを深めるべく散策するという形をとった。

本サークルは学部を問わず多様な学部学科生が加入している。文学散歩を通して身近にありながら非日常の匂いを帯びた知識・記録に触れ、学生同士が自身の専門とする分野を超えて自由な交流を行うことで互いの興味関心を知り、自らの視点を見つめ直して普段の学校生活に活かす機会を生むことができた。

日本語史研究会 活動報告

顧問 近衛典子 指導者 土井光祐
 人員七名 報告者 小松礼奈

〔活動内容〕

大学図書館グループ学習室等における対面の活動と、オンラインによる活動とを併用して、各自が取り組んでいる日本語史関連のテーマについて成果や疑問点を自由に報告し合い、ディ

スカッションを行って知見を深めた。

対面の研究会の再開によって、メンバーが実際に集まって交流を深めることの意義を再認識したが、オンラインの活用によって、在学生だけでなく遠方在住のOB・OGの参加も可能となり、卒業論文、就職活動、教員採用試験等、さまざまな情報や助言を得る貴重な機会となった。

中世文学研究会

顧問・指導者 櫻井陽子

人員二名 報告者 村越すみれ

〔活動内容〕

中世文学研究会では、『平家物語』を中心として、中世の軍記物語に親しむことを目標に活動を行なっている。

本年度は、覚一本『平家物語』の輪読を行なった。『平家物語』以外の軍記物語や歴史資料、事典類なども参考にしながら解釈を深め、古典や歴史についての知識を共有した。